

2023 年度

# 事業報告書

2024 年 6 月 10 日

公益財団法人NHK交響楽団

— 目次 —

はじめに	3
1. “N響ならではの”の公演とお客様満足度の向上	4
(1) 定期公演の充実とサービスの刷新	4
【定期公演】	5
(2) 多様な公演の展開	7
【特別公演】	7
【地方公演】	9
【契約公演】	9
2. 若者、ファミリー層との接点の拡充	9
(1) 初心者でも楽しめるコンサートや企画	9
(2) ユースチケットの登録者増	10
(3) デジタル発信の強化	10
3. 社会と地域に貢献	11
(1) 次世代の未来を育む活動	11
(2) 福祉、被災地の応援	12
(3) N響アカデミーによる人材育成	12
(4) N響100年に向けた取り組み	13
4. 放送への貢献	13
(1) 放送への出演、テーマ曲の収録	13
(2) 視聴者リレーション活動	13
5. 海外のファンの獲得	14
(1) 外国人旅行者、留学生への取り組み	14
(2) 国際発信の強化	14
6. 経営基盤とガバナンスの強化	15
(1) 特別支援・賛助会員の理解促進	15
(2) 事務局のパワーシフト	15
(3) テレワーク環境の整備	15
(4) NHK財団と連携したガバナンスの強化	15
7. 顕彰の実施	16
(1) 尾高賞	16
(2) 有馬賞	16
8. 法人の概況	17
9. 処務の概況	18
10. 理事および監事に支払った報酬の額	20
(参考資料)	21

## はじめに

NHK交響楽団は、2023年度、首席指揮者ファビオ・ルイージとともに、ファン投票で選んでいただいた「マーラー《一千人の交響曲》」による定期2000回記念公演を行ったのをはじめ、内外の著名な指揮者とともにN響ならではの最高峰のクラシック音楽をお届けした。

さらに、N響の一層の進化に向けて、新しい試みへの挑戦を続ける一年でもあった。特にSNSを中心にしたプロモーションの強化やユースチケットの利便性の向上が効果を上げ、若い世代のファンが着実に増加した。NHKの「Eテレ」で放送されたアニメと連動した「青のオーケストラ」コンサートや、俳優の高橋英樹さんらをゲストに迎えてN響として初めての試みとなる大河ドラマコンサートを開催、こうした多彩な取り組みの結果、定期会員数はコロナ前の水準を上回るまでに回復した。

地域社会への貢献にも、より一層力を入れた。各地の小中学校を楽員が回る「こども音楽クラブ」を引き続き展開するとともに、2024年1月の能登半島地震では、翌月に楽員が現地の避難所でミニコンサートを行い、被災者に安らぎと癒しのひとときをお届けすることができた。

新しく誕生したNHK財団と経営統合して効率的な運営を進めつつ、お互いのノウハウを結集して新しい教育プログラムを開発するなどNHKグループとしての社会貢献活動にも精力的に取り組んだ。

2026年の創立100年に向けて、今後、台湾公演（2024年8月）、ヨーロッパでのマーラーフェスティバルへの参加（2025年5月）が決まっており、国際的な存在感の向上にも努める。N響は、クラシック音楽を通じて皆様の人生に彩りをお届けしながら、社会に必要とされるオーケストラとしての活動を続けていく。

# 1. “N響ならではの”の公演とお客様満足度の向上

## (1) 定期公演の充実とサービスの刷新

### ① 優れた音楽家との共演

就任2年目となる首席指揮者ファビオ・ルイージの人気も定着し、若手指揮者のリーダー的存在となっているトゥガン・ソヒエフらとの共演や当団所属のトッププレーヤーのソリストとしての起用など、内外の優れた音楽家をバランスよく配置し、ファンの期待に応えた。中でもBプログラムは、18回すべての公演でチケットが完売した。

### ② メモリアルな公演

1927年に定期公演が始まって2000回目にあたる記念公演（2023年12月）は、ファン投票で選ばれたマーラーの大曲を合唱付きで演奏し、チケットは2日間とも完売した。また、今シーズンで引退する日本の代表的指揮者、井上道義との最後の定期公演（2024年2月）も合唱を交えたスペシャルなステージを企画し、チケットの販売率は2日間とも90%を超えて好評を博した。

### ③ チケットサービスの刷新

2023年4月からチケット販売会社、ぴあ株式会社と業務提携し、券売システムを刷新した。新しい「WEBチケットN響」では、25歳以下の割引サービス「ユースチケット」をWEBで登録・購入ができるようにした他、英語販売サイトも導入し訪日外国人のチケット購入の利便性を高めた。また「eチケット」を自社サービスとして導入し、携帯端末を活用した電子チケットも徐々に普及している。

### ④ 来場者へのサービス

2022年度夏から解禁した演奏終了後のカーテンコールのステージ撮影を、2023年度はすべての主催公演で実施した。また、外部業者を通じてN響関連グッズの企画、販売を行い、とくに第2000回定期公演のオリジナルグッズは好評を得た。各会場のロビーでは記念撮影用の指揮者の等身大パネルを設置するなど、来場者サービスに努めた。

### ⑤ WEBアンケート

お客さまの声を公演やサービスにいかすため、プログラムなどに印刷した二次元コードを活用したWEBアンケートをすべての主催公演で実施した。定期公演の満足度（各公演で「大変満足」「満足」と回答した割合）は、平均で86.4%（回答者計639）と高かった。定期公演以外では、第9公演が88.0%、地方公演（主催7公演）が95.4%と高い水準だった。

## 【定期公演】

定期公演は、本格的な演目を一流のソリストの演奏とともにたっぷりと味わっていただくAプログラム、豪華な雰囲気と繊細な響きをサントリーホールで贅沢に味わっていただくBプログラム、1時間程度のコンパクトな公演と比較的廉価な料金、それに開演前の室内楽のサービスを加え「お得感」と「気軽さ」を打ち出したCプログラムなど3種類のプログラムで、計52公演をお届けした。

### ○ 2022—23定期公演（4月～6月）

Aプログラム：NHKホールで3プログラム6公演

Bプログラム：サントリーホールで3プログラム6公演

Cプログラム：NHKホールで3プログラム6公演

合計9プログラム、18公演

### ○ 2023—24定期公演（9月～翌年2月）

Aプログラム：NHKホールで5プログラム10公演（10月の2公演中止）

Bプログラム：サントリーホールで6プログラム12公演

Cプログラム：NHKホールで6プログラム12公演

合計17プログラム、34公演

### < 4月 >

名誉指揮者パーヴォ・ヤルヴィが登場。AプロはR. シュトラウスの大曲《アルプス交響曲》。Cプロではイベールやプーランクといった瀟洒なフランス音楽を、コンパクトな編成でお届けした。Bプロはヤルヴィが得意とするロシア・北欧のドラマティックな作品。

### < 5月 >

Aプロは現代音楽とドヴォルザークの美しいメロディを組み合わせた下野竜也らしいプログラム。首席指揮者のルイージはCプロで近代フランスの名曲、Bプロでハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンというウィーン古典派の3大作曲家を取り上げた。

### < 6月 >

人気指揮者ジャンドレア・ノセダが5年ぶりに登場し、母国イタリアのカゼッラをAプロで、レスピーギをBプロで披露。Cプロのショスタコーヴィチ《交響曲第8番》など、ゆかりの深いロシア音楽を全プログラムに取り入れることで、持ち味を十分に生かした内容となった。

### < 9月 >

首席指揮者として2シーズン目を迎えるファビオ・ルイージが、Aプロで得意のR. シュトラウスを指揮。特に《イタリアにて》は彼が愛してやまないレパートリーであった。Cプロではワーグナー《ニーベルングの指環》の管弦楽用編曲版をお送り

した。Bプロのトン・コープマンはオール・モーツァルト・プログラム。フルート首席の神田寛明をソロに迎えた。

#### <10月>

出演を予定していた桂冠名誉指揮者ヘルベルト・ブロムシュテットが直前の体調不良で来日できず、Aプロはやむなく公演中止とした。Bプロのベートーヴェンとブラームスは正指揮者・尾高忠明、北欧の名曲を取り上げたCプロは、ベテラン高関健が代役指揮を務めた。

#### <11月>

Aプロはフェドセーエフの来日がキャンセルとなったため、指揮研究員の平石章人と湯川紘恵が、前後半交替で代役を務めた。Bプロではフィンランドのサラステが指揮するシベリウスを、CプロではN響初登場のマダラシュによるハンガリーの名曲をお届けした。

#### <12月>

記念すべき第2000回定期となるAプロは、ファン投票で選曲したマーラー《千人の交響曲》。ルイーゼの推薦による世界的な歌手が集結した。Bプロでは人気のアリス・紗良・オットを迎えたりストの協奏曲や、生誕150年となるレーガーの傑作を演奏した。Cプロはルイーゼ得意の《幻想交響曲》。

### 2024年

#### <1月>

世界的な評価をますます高めているトゥガン・ソヒエフが3プログラムを指揮。Aプロは、昨シーズンも好評だったラヴェル。オーソドックスな古典派のBプロにはN響の誇る首席奏者たちがソリストとして登場した。Cプロではソヒエフ自らが選曲したバレエ組曲《ロメオとジュリエット》の抜粋版を演奏した。

#### <2月>

Aプロは引退を表明した井上道義による最後のN響定期。ライフワークであるショスタコーヴィチの傑作《バビ・ヤール》を指揮した。Bプロのパブロ・エラス・カサドは祖国スペインにちなんだ名曲を、Cプロの大植英次はドイツ後期ロマン派の傑作に挑んだ。

### ■定期公演入場者と定期会員（席）数■（2024年3月末現在）

2023年度の定期公演は、新型コロナウイルスの5類移行により、年度を通じて通常通りの運営となった。入場者数は99,288人となり、指揮者の体調不良で2公演の中止があったものの前年度（95,201人）よりも4,000人余り増加した。このうちBプログラムはすべてのチケットが完売した。

定期会員（席）数は、年間会員、シーズン会員合わせて8,449人となり、前年度（7,775人）よりも674人（8.7%）増加した。これはコロナ禍の前の水準（2019年度の定期会員8,229人）をやや上回っている。

## （2）多様な公演の展開

定期公演以外にも、音楽文化の創造と発展に寄与し、良質な音楽を全国の隅々まで届ける公演を展開した。また、幅広い世代にクラシック音楽に親しんでもらうための公演にも力を入れた。

### 【特別公演】

#### ① 青のオーケストラ

2023年4月からNHKEテレで放送されたアニメ「青のオーケストラ」と連動した演奏会。クラシック音楽を題材とした青春群像ドラマで、主人公の演奏吹き替えを担当するソリストや声優も登場した。発売から1週間で完売し、新たなファン層の獲得に貢献した。公演は、特集番組として6月にEテレで放送された。

（5月7日 東京芸術劇場）

#### ② Music Tomorrow 2023

優れた現代音楽作品を取り上げて、新たな音楽文化の創造に寄与することを目的とした演奏会。指揮のライアン・ウィグルスワースが急遽キャンセルとなったため、杉山洋一が代わりに指揮を務め、第70回尾高賞を受賞した藤倉大の「尺八協奏曲」と一柳慧の「ヴァイオリンと三味線のための二重協奏曲」、当団が共同委嘱に加わったスルンカの「スーパーオーガニズム」を演奏した。

（6月27日 東京オペラシティ・コンサートホール）

#### ③ オーケストラ・キャラバン 茨城特別公演

文化庁の助成を受けてオーケストラ連盟が主催する特別公演を茨城県水戸市で実施した。広上淳一の指揮、小山実稚恵のピアノでラフマニノフ《ピアノ協奏曲第3番》、ベートーヴェン《交響曲第7番》を演奏した。

（7月17日 ザ・ヒロサワ・シティ会館）

#### ④ N響「夏」2023

クラシック音楽のファン層の拡大を目的に、熊倉優の指揮、北村朋幹のピアノでモーツァルト《ピアノ協奏曲第24番》、シューマン《交響曲第3番「ライン」》など、親しみやすい名曲を演奏した。

（7月21日 NHKホール）

#### ⑤ 松山定期演奏会

愛媛県内の多くの企業に協賛をいただいで毎年行っている公演。N響「夏」と同内

容の演奏を行った。

(7月23日 松山市民会館)

⑥ N響ウェルカム・コンサート

9月に開幕する定期公演の2023-24シーズンに先立ち、プログラムの聴きどころを熊倉優の指揮で分かりやすく紹介。従来の定期会員はもちろん、新たなファンの開拓を行った。

(8月3日 NHKホール)

⑦ N響ほっとコンサート

夏休みのファミリー向けに行う演奏会。「おかあさんといっしょ」でうたのお姉さんを務めた小野あつこが歌と司会を担当。三ツ橋敬子が指揮台に立ち、会場も巻き込んで親子で楽しめるコンサートとなった。ロビーでは、金管楽器によるファンファーレでお客様を出迎えた他、コロナ禍で中断していた「楽器体験工房」も再開した。

(8月6日 NHKホール)

⑧ N響名曲コンサート2023

下野竜也の指揮によるドヴォルザーク《交響曲第8番》など、クラシックの名曲を楽しんでもらうコンサート。新進気鋭のピアニスト、小林海都をソリストに迎えた。

(9月28日 サントリーホール)

⑨ オーケストラ・キャラバン 山形特別公演

文化庁による助成を受けてオーケストラ連盟が主催する特別公演を山形市で実施した。N響名曲コンサートと同じ出演者による名曲プログラムを届けた。

(10月2日 やまぎん県民ホール)

⑩ ベートーヴェン「第九」演奏会

年末恒例のベートーヴェン《交響曲第9番》。下野竜也の指揮、ソリストも日本人のオールジャパンのキャストで実施した。

(12月22, 23, 24日 NHKホール)

(12月27日 サントリーホール)

⑪ N響大河ドラマ&名曲コンサート

NHK大河ドラマ60年の節目にあたり、テーマ曲を手掛けてきた“N響ならではの”のコンサート。最新の「どうする家康」や往年の名作のテーマ曲をはじめ、「大河」をモチーフにしたスメタナの《モルダウ》など、クラシックの名曲も演奏。ソリストには、「真田丸」のテーマを演奏したヴァイオリニスト三浦文彰を、特別ゲストには、俳優の高橋英樹を迎えた。

### 【地方公演】

- ① NHK各放送局との共催により全国各地で実施する公演  
2023年度は静岡、帯広、旭川、札幌、大阪、松本、新潟の合計7都市で公演を実施した。
- ② NHK音楽祭  
指揮のフェドセーエフが急遽キャンセルとなったため、来日中だったアクセルロッドが代わりに指揮を務め、チャイコフスキー3大バレエの一つ、《くるみ割り人形》全曲を演奏した。

(11月20日 NHKホール)

### 【契約公演】

主催者の依頼により出演する公演。「東京・春・音楽祭」や「N響オーチャード定期」といった東京都内で開催する公演の他、全国各地の自治体やホールなどから依頼された公演など、合計32公演を実施した。

## 2. 若者、ファミリー層との接点の拡充

### (1) 初心者でも楽しめるコンサートや企画

- ① アニメや大河ドラマと連携した新規公演  
Eテレの青春アニメ「青のオーケストラ」と連動した本格的なコンサートを5月に開催。ステージ上の大画面への投影や声優のゲスト出演、ロビーでの記念撮影などの趣向を凝らし、クラブ活動で演奏に打ち込む学生やアニメファンなどへの浸透を図った。2024年3月に開催した「大河ドラマ&名曲コンサート」では、往年の名作10本のテーマ曲を俳優の高橋英樹さんのトークを交えてお届けするとともに、後半は大河にちなんだクラシックの名曲を演奏。“大河ファン”はもとよりクラシックファンにも満足いただく内容とした。これら2つの新規公演のチケットはいずれも完売し、来場者へのWEBアンケートによると、満足度は前者が100%、後者が98%だった。また、それぞれの回答者の半分近くが「N響公演は初めて」と答えており、ファンの新規開拓の足掛かりになると見ている。
- ② N響ウェルカム・コンサート  
9月に開幕する定期公演の新シーズンのラインナップを1か月早くダイジェストで紹介するこのコンサートは2年目を迎えた。初心者でも気軽に楽しんでいただけるようMCと指揮者の解説を交えながら、それぞれの曲のおなじみの旋律などをわかりやすく伝えた。ウェルカム・ペアチケット(2枚1組)2,000円やユースチケット(25歳以下)500円という破格な特別料金を設定。また、来場者向けの定期公演チ

ケットの割引きや会場内での特設販売に加え、アンケートの回答者には、抽選で11月の定期公演にご招待する企画を設け、2023-2024シーズンの来場者増につなげた。

③ ゲームソフトメーカーとの連携

震災の復興支援で連携しているゲームソフトメーカー、株式会社ポケモンが東北地方で行うファミリー向けのキャラクターショーに室内楽のメンバーを派遣した。さらに8月にはパシフィコ横浜で4000人の観客を迎えて開催されたスペシャルコンサートでも演奏した。子どもたちにおなじみのゲーム音楽の演奏を通じて“身近なN響”をアピールした。この模様は動画でも配信され、2024年3月からはANAの国際線で、期間限定で機内上映された。

④ 児童、生徒のバックステージツアー

ユースチケットを共同で購入していただいた小中学校や高校の団体を本番前のステージやロビーなどに案内する見学会を行った。ガイド役の職員が楽器の配置やスタッフたちの役割、プログラムの特徴などを解説し、オーケストラへの理解と関心を深めてもらった。2023年度は4校を対象に実施した。

## (2) ユースチケットの登録者増

25歳以下の割引サービス「ユースチケット」は、2022年度から定期公演の全席種で割引率を50%以上に改定し、NHKホールの1回券E席を最低800円(Cプログラム)で楽しめるようにした。さらに2023年度は、券売システムを刷新し、「WEBチケットN響」を通じてユース登録とユースチケット購入をWEBからもできるように改めた。学校の団体購入の斡旋を含めて活用の促進を図るとともに、PRチラシや動画広告などで周知に努めた。その結果、2024年3月末のユースチケット登録数は、8,259件（前年同期の48%増）と急激に増えた。年間の販売枚数も前年より1000枚以上多い6,500枚余りとなった。

## (3) デジタル発信の強化

① N響公式YouTubeチャンネル

YouTubeは若年層にアピールするための必須の手段となっている。2023年度のN響公式YouTubeチャンネルの制作本数は、演奏動画16本、インタビュー19本に上り、タイムリーで飽きの来ない配信に努めた。その結果、2024年3月末の登録者は77,325人で、前年同期（34,807人）の2.2倍。総視聴回数は639万回で、前年同期（201万回）の3.2倍と急増した。海外からの視聴も全体の8.2%で、国の内外への発信窓口となっている。演目別では、「パガニーニ／ヴァイオリン協奏曲 第1番 | HIMARI - ケリーリン・ウィルソン」（2023年3月11日 Bunkamura オーチャードホール収録）の313万回が群を抜いて多かった。

## ② 多様なSNSの活用

SNS（X(旧Twitter)、Facebook、Instagram）は前年度に引き続き、公演や放送の情報、本番に向けての練習風景、フル・オーケストラ以外の室内楽の予告などを積極的に配信。Xのフォロワー数はおよそ6万7千人と、国内のオーケストラ団体では最多である。また、Instagramのストーリーズ機能を活用するなど、多角的な投稿によって広い世代への周知を進めた。

## 3. 社会と地域に貢献

2023年4月、当団は、NHKグループの社会貢献事業を担う一般財団法人NHK財団と統合した。初年度は、互いに連携して教育や福祉の分野で新しい事業の創出に取り組んだ。また、N響独自の事業として室内楽を全国に展開し、社会と地域に役立つ活動に努めた。

### (1) 次世代の未来を育む活動

#### ① 教育プログラムの創出

NHK財団と開発を進めていた教育プログラム「N響と音楽体験！子どもたちのフューチャー・ラボ」の第一弾を千葉県柏市の中学校（9月）で行った。講師役の楽員が学校を訪問し、ベートーヴェンの“田園”をモチーフに生徒とともに一つの音楽表現を作り上げていくワークショップを開催した。この参加型学習法による音楽体験教室は地域のニュースでも取り上げられ、今後も継続する。

#### ② NHKこども音楽クラブ

次世代を育てる教育プログラムとしてNHKと共催し、2007年から各地の小中学校を訪ねてミニコンサートが続けている。楽員による楽器の説明や校歌の演奏なども行い、子どもたちとふれ合いながらオーケストラの魅力を紹介した。2023年度は、特別支援学校2校を含め9か所13校で実施した。コンサートの様子は、地域放送局のニュースや番組をはじめ、NHKのホームページでも紹介された。

#### ③ 「N響といっしょ！音を楽しむ！！」

就学前の幼い子どもたちに音楽を楽しんでもらうことを目的にスタートした取り組み。2023年度は8月と2024年2月にそれぞれ2回ずつ実施し、地元港区の2つの保育園の園児をN響の演奏所に招き、楽員と交流した。

#### ④ NPOと連携した子どもの招待

夏休みのファミリー向けの「N響ほっとコンサート」（8月）に一人親世帯や共働き世帯の子ども200人を招待したほか、病気で親を亡くした遺児らを招いた。これらは、子どもたちを支援するNPOと連携して行っているもので、夏休みの思い出にしてもらう取り組みとして今後も継続する。

⑤ アウトリーチ活動等の室内楽

地方でのオーケストラ公演と前後して近隣の学校を訪ねるアウトリーチ活動として、広島県福山市の中学、高校（7月）、栃木県足利市の小学校（10月）で室内楽を演奏した。この他、地域の団体からの要請を受け、東京都港区（10月）や静岡県浜松市（2024年1月）などで青少年を対象にした室内楽コンサートを開催し、音楽学習に貢献した。また、東京都府中市の生涯学習センターでの音楽講座（7月、10月、11月）に楽員を派遣するなど広い世代に学びの場を提供した。

## （2）福祉、被災地の応援

① 聴覚障がい者の音楽鑑賞

NHK財団と連携し、耳が不自由な方でも音を聞き取れる特殊な装置「骨伝導ヘッドホン」の将来的な活用に向けた活動を昨年度に引き続き行った。NHKホールでの定期公演のリハーサル公開に障がい者や音響メーカーの関係者を招き、機器の研究開発に協力した。（5月～2024年1月）

② 福祉施設、病院の訪問

長野県千曲市の養護学校の依頼を受け、室内楽のミニコンサート（6月、11月）を行った。また、東京都立の2つの特別支援学校の生徒たち120人を対象に賛助会員企業が主催したコンサート（9月）に木管五重奏を派遣した。お年寄りの施設については、兵庫県加古川市と尼崎市（7月）、名古屋市（5月、9月）に室内楽を派遣した。さらに、東京都品川区のNTT東日本関東病院の依頼で患者や病院の関係者向けに新春のミニコンサートを行った（2024年1月）。

③ 被災地の訪問

被災地の復興支援に取り組むゲームソフトメーカーのポケモンとタイアップし、岩手県久慈市（4月）、福島県郡山市（6月）、仙台市（10月）でのファミリー向けのイベントでミニコンサートを開催した。仙台市での模様は、海外向けの政府広報として活用された。また、NHK財団から要請により震災被災地の岩手県釜石市（6月）に金管五重奏を派遣した。2024年1月1日に発生した能登半島地震の翌月（2/25）、被災した石川県内の避難所を弦楽、木管、金管の各五重奏3チームが手分けして回った。金沢市3か所、七尾市2か所、穴水町1か所の避難所で慰問のミニコンサートを開き、被災者に安らぎと元気を届けた。

## （3）N響アカデミーによる人材育成

日本のオーケストラの若手演奏家の育成を目的にスタートした「N響アカデミー」は、22年目となった。楽員の直接指導や実演訓練などを経て、これまでに54人（2024年3月末）が巣立ち、当団を含め、国内外のオーケストラなどで活躍している。「指揮研究員」のコースでも、当団と共演する著名な指揮者のアシスタントとして2名のプロ指揮者が研鑽を積んでいる。この2名は、11月の定期公演で体調不良の

ため来日できなくなった指揮者の代役を務めた。将来を担う人材に活躍の機会を与えながら公演を継続させたことに激励の声が寄せられた。演奏者は11名（2024年3月末）が在籍し、音楽界の人材の育成に引き続き貢献していく。

#### （４）N響100年に向けた取り組み

当団は、2026年に創立100年を迎える。記念コンサートとしてベートーヴェン・チクルスや演奏会形式のオペラなどの特別プログラムを企画することや楽団の歴史を辿る展示、記念誌の製作などに向けて検討を進めた。また、前年の2025年に予定しているヨーロッパ公演やNHKの放送100年事業を、N響100年のプレイベントとして連動させるため、関係者との協議を始めた。「人生に彩りを～N響100年～」のビジョンの下、様々な事業の具体化に向けて準備を加速させる。

## 4. 放送への貢献

2023年度は、Eテレのアニメ「青のオーケストラ」や大河ドラマを題材にした本格的な公演を開発して番組の支援を行うとともに様々な演奏活動を通じて放送事業に協力した。

#### （１）放送への出演、テーマ曲の収録

- ・定期公演は、各回ともテレビのEテレ「クラシック音楽館」で放送。ラジオはCプログラムの1日目を生放送で、他のプログラムは、収録して後日放送した。放送後も、「NHKプラス」「NHKオンデマンド」の見逃しサービスや「らじる★らじる」「radiko」の聞き逃しサービスで、期間限定で配信された。
- ・特別公演は、年末の「第九」を8Kスーパー・ハイビジョンで生放送、6月の「Music Tomorrow 2023」はFM「現代の音楽」で放送された。
- ・2024年の大河ドラマ「光る君へ」のテーマ曲や、コロナ禍後の海外ロケを再開する「名曲アルバム」の録音を行った。
- ・2023年4月の入局式では弦楽四重奏が、2024年3月の放送記念日式典ではオーケストラが、NHKホールで記念演奏を行った。
- ・室内楽編成でこども番組への出演や、アニメ「青のオーケストラ」のテーマ録音、ミニ番組への出演をした。

#### （２）視聴者リレーション活動

NHKの地域放送局の要請を受けて各地の視聴者活動に室内楽メンバーを積極的に派遣した。2023年度は放送局の会館公開や地方公演のプレイベントにあわせて、「青のオーケストラ」や大河ドラマ「どうする家康」に連動したトークショーなど8本※に参加し、その様子は地域の番組やニュースで放送された。また、NHKが地域の施策として行っている全国ケーブルテレビキャラバン「NHKカジュアルクラシックコンサート」への楽員派遣にも協力した。「NHKこども音楽クラ

ブ」を含め、NHKのブランド力の向上に寄与した。

(※開催地は、松江2本、熊本、浜松、函館、松本、下松、千葉)

## 5. 海外のファンの獲得

### (1) 外国人旅行者、留学生への取り組み

#### ① 訪日旅行者への取り組み

訪日旅行者が多く、2024年8月に公演ツアーを計画している台湾への売り込みに力を入れた。台湾で日本への旅行を計画している人の90%が利用するという現地の旅行情報サイトにN響の公演を紹介するページを掲載した。あわせてチケットの購入方法を解説した動画も載せ、10月の開始1か月で560人余りが閲覧した。この他、東京都内24のホテルのコンシェルジュを通じたプロモーションや外国人向けのチケットショップとの連携などに引き続き取り組んだ。

#### ② 留学生の招待

日本で学ぶ留学生の招待は、コロナ禍の影響で3年間中止していたが、2023年度に再開した。4月以降、定期公演のCプログラムを中心に首都圏の5つの大学から合わせて400人余りの学生を招いた。大半はアジアからの留学生で、日本のオーケストラや音楽文化への理解促進を図るとともに、海外にN響サポーターを広める一助として今後も継続する。

### (2) 国際発信の強化

#### ① 英語版チケット販売サイト

海外のお客さまに向けた英語版のチケット販売サイトを2023年6月末から開設した。これにあわせてイギリスを拠点とするクラシック音楽サイト「Bachtrack」(英語)をはじめ、海外メディアを通じて公演情報などを発信した。

#### ② 定期刊行物の外国語表記

機関誌「フィルハーモニー」や年間誌「ブローシュア」などに引き続き英語ページを掲載するとともにホームページにも展開し、海外への訴求力を高めた。今後は、アジア圏のお客さまも念頭に中国語(繁体字/簡体字)による「チケットの購入の仕方」の掲載を検討する。

#### ③ 国際放送

海外向けの国際放送「NHKワールド JAPAN」のN響の演奏を特集した番組、「Masterpiece Performed by NHK Symphony Orchestra」は5年目を迎え、引き続き制作に協力した。2023年度は、12月に日本人指揮者・ソリストによる近年の演奏を取り上げた計3番組が放送された他、NHKオンデマンドによって全世界に

配信された。

## 6. 経営基盤とガバナンスの強化

### (1) 特別支援・賛助会員の理解促進

円安や物価高による公演経費の上昇、NHK助成金の減少など、経営の環境は厳しさを増した。このため一部の公演の料金を改定するとともに、企業や個人の寄付の拡大に力を入れた。企業訪問を強化するとともに、支援者に定期公演のリハーサルをイヤホンガイド付きで見学して頂く機会を増やすなど、当団の活動への理解促進に努めた。その結果、賛助会員（一口50万円、個人を含む）は、2024年3月末現在で209社、334口と前年に比べ10社、14口の増加となり、著しい伸びとなった。また、大口の特別支援は4団体と変動はないが、2年前に退会した1団体の復帰と1団体の新規加入についてご理解を頂き、2024年度の加入に向けた手続きに入った。この他、定期公演の会員や特別公演への協賛の獲得に注力するなど、当初予算の赤字の圧縮に努めた。

### (2) 事務局のパワーシフト

広報、チケットセールス、公演会場の運営などの業務を部分的に外部に委託し、新たに生まれたパワーを室内楽の全国展開や新しい企画の開発などに振り向ける事務局のパワーシフトを、2023年9月の新シーズンから本格化させた。また、既存の「事業広報部」を「企画プロモーション部」に改め、デジタル広報やチケット販売の戦略立案機能を強化した。さらに、部署間の垣根を低くするため、各部に兼務者を配置し、多様化している業務に機動的に対応した。

### (3) テレワーク環境の整備

在宅や出先での効率的な業務とペーパーレス化をさらに促進するため、事務局の全職員に業務用のスマートフォンやモバイルノートパソコンを貸与した。NHK財団との統合に伴い経理システムや事務インフラを共通化し、各種サーバーの新設、改修を行って、テレワークを支える基盤を整備した。これとあわせて各職員のパソコン上のデータを指定のクラウドに移行させて管理を徹底するとともに各サーバーへのアクセス権限を厳格にするなど情報セキュリティを強化した。

### (4) NHK財団と連携したガバナンスの強化

内部監査については、これまで外部の内部統制サービスを活用していたが、2023年度は、9月にNHK財団と連携して独自の現地監査を行うなど、ガバナンスの強化を図った。会計については、トータルコストの視点も取り入れた管理会計も活用し、収支の点検、分析を行った。また、個人情報保護や情報セキュリティへの対応力を高めるため、NHK財団主催の研修会などに参加した。

## 7. 顕彰の実施

### (1) 尾高賞

故・尾高尚忠氏の功績をたたえ、邦人作曲家による優れたオーケストラ作品を顕彰するために1952年に設けた作曲賞。71回目となる2023年度は、湯浅譲二氏の《打楽器、ハーブ、ピアノ、弦楽オーケストラのための「哀愁 (エレジィ) —for my wife, Reiko—」(2023)》が選ばれた。贈呈式と受賞作品の演奏は、2024年5月、東京オペラシティコンサートホールで開催される「Music Tomorrow 2024」で行われる。

### (2) 有馬賞

故・有馬大五郎氏（元・当団副理事長）の偉業を記念して、1981年に設けた賞で、当団の発展に功績のあった関係者、関係団体、職員が授賞の対象。2023年度は、2017年以来、N響の各種公演を協賛するとともに20年の長きにわたって賛助会員として当団の事業を支え、日本の音楽文化の普及に多大な貢献した株式会社明電舎に授与した。

## 8. 法人の概況

### 1. 設立年月日

1942年4月27日

- |            |                    |
|------------|--------------------|
| 1926年10月5日 | 「新交響楽団」（任意団体）設立    |
| 1942年4月27日 | 「財団法人 日本交響楽団」設立    |
| 1951年8月1日  | 「財団法人 NHK交響楽団」に改称  |
| 2010年4月1日  | 「公益財団法人 NHK交響楽団」設立 |

### 2. 目的

交響管弦楽により、わが国音楽芸術の向上発展を図り、その社会文化使命を達成することをもって目的とする。

### 3. 事業内容

- (1) 放送演奏
- (2) 公開演奏
- (3) 演奏に必要な研究ならびに施設の運営
- (4) 機関雑誌の発行
- (5) その目的を達成するために必要な事業

### 4. 所管官庁

内閣府

### 5. 会員状況（2024年3月31日現在）

- (1) 定期会員 8,449人
- (2) 賛助会員 209社（人） 334口（1口50万円）

### 6. 特別支援・協力企業

- (1) 特別支援企業  
岩谷産業株式会社、三菱地所株式会社、株式会社みずほ銀行、  
公益財団法人渋谷育英会
- (2) 特別協力企業  
BMWジャパン、全日本空輸株式会社、ヤマハ株式会社、  
株式会社パレスホテル

### 7. 事務所所在地

事務所・練習場

東京都港区高輪 2-16-49

## 9. 処務の概況

### 1. 理事・監事および評議員に関する事項

#### (1) 理事・監事

(2024年3月31日現在)

役職	氏名	担当職務・現職
理事長	今村 啓一	
常務理事	中野谷 公一	経営管理
常務理事	三溝 敬志	演奏制作・企画プロモーション
理事	相川 直樹	慶應義塾大学 名誉教授
理事	内永 ゆか子	NPO 法人 J-Win 会長理事
理事	岡田 知之	洗足学園音楽大学 名誉教授
理事	笠原 裕之	NHK財団 理事
理事	杉山 博孝	三菱地所(株) 特別顧問
理事	銭谷 眞美	(公財)新国立劇場運営財団 理事長
理事	團 宏明	(公財)通信文化協会 会長
理事	毛利 衛	日本科学未来館 名誉館長、宇宙飛行士
監事	江口 貴之	NHK グループ経営戦略局 局長
監事	浜村 和則	公認会計士

#### (2) 評議員

(2024年3月31日現在)

役職	氏名	現職
評議員	稲葉 延雄	NHK 会長
評議員	江頭 敏明	三井住友海上火災保険(株) 特別顧問
評議員	樺山 紘一	東京大学 名誉教授
評議員	熊埜御堂 朋子	NHK 理事
評議員	清野 智	東日本旅客鉄道(株) 顧問
評議員	田中 宏暁	NHK財団 理事長
評議員	檀 ふみ	女優
評議員	坪井 節子	(社福)カリヨン子どもセンター 理事・弁護士
評議員	前田 昭雄	上野学園大学 学長
評議員	松居 径	NHK財団 専務理事
評議員	三浦 惺	日本電信電話(株) 特別顧問
評議員	山名 啓雄	NHK 専務理事
評議員	渡邊 修	石油資源開発(株) 代表取締役会長

## 2. 理事・監事および評議員の異動に関する事項

区分	年 月 日	辞任・退任	新 任
評議員	2023年3月31日	土井 成紀	
評議員	2023年3月31日	野口 周一	
評議員	2023年3月31日	松崎 和義	
評議員	2023年3月31日	松本 浩司	
評議員	2023年4月1日		黄木 紀之
評議員	2023年4月1日		樺山 紘一
評議員	2023年4月1日		熊埜御堂 朋子
評議員	2023年4月1日		坪井 節子
評議員	2023年4月1日		中嶋 太一
評議員	2023年4月1日		松居 径
理 事	2023年4月1日		笠原 裕之
理 事	2023年6月16日	木村 恵司	杉山 博孝
評議員	2023年6月16日	黄木 紀之	田中 宏暁
評議員	2023年6月16日	中嶋 太一	山名 啓雄

## 3. 職員に関する事項

(2024年3月31日現在)

職 種	人 数	平均年齢
楽 員	99人	46.7歳
事務職員	25人	50.2歳
合計または平均	124人	47.4歳

注) 2024年3月31日退職者は含まず。

#### 4. 会議に関する事項

##### (1) 理事会の開催状況（書面決議の場合、年月日は決裁日）

区 分	年 月 日	議 題
第 73 回理事会	2023 年 5 月 24 日	1. 業務運営状況報告 2. 2022 年度事業報告及び収支決算 3. 第 42 回評議員会の開催
第 74 回理事会 (書面)	2023 年 7 月 3 日	1. 常務理事の選任 2. 常勤理事 3 名の報酬
第 75 回理事会 (書面)	2023 年 12 月 22 日	1. 第 43 回評議員会の開催
第 76 回理事会	2024 年 3 月 21 日	1. 業務運営状況報告 2. 2024～2026 年度中期経営計画 3. 2024 年度事業計画及び収支予算

##### (2) 評議員会の開催状況（書面決議の場合、年月日は決裁日）

区 分	年 月 日	議 題
第 42 回評議員会	2023 年 6 月 16 日	1. 2022 年度事業報告及び収支決算 2. 評議員・理事の選任
第 43 回評議員会	2024 年 3 月 21 日	1. 2024～2026 年度中期経営計画 2. 2024 年度事業計画及び収支予算

## 10. 理事および監事に支払った報酬の額

当事業年度における当財団の理事および監事に対する報酬の内容は以下の通り。

役員区分	報酬の総額 (千円)	報酬等の種類別の総額		対象となる 役員数 (人)
		定額部分	変動部分	
理 事	48,339	36,600	11,739	3
監 事	2,520	2,520	0	1

※当事業年度末の人員数は理事 11 名、監事 2 名。うち非常勤理事 8 名、非常勤監事 1 名は無報酬であり、上記人員には含まれていない。

(参考資料)

2023年度 公演概要

公演	年間公演回数	年間入場者	内容
定期公演	52回	99,288人	Aプログラム 16回 (NHKホール) Bプログラム 18回 (サントリーホール) Cプログラム 18回 (NHKホール)
特別公演	14回	28,484人	青のオーケストラ、Music Tomorrow2023 オーケストラ・キャラバン茨城、N響「夏」 松山定期、ウェルカム・コンサート、ほっ とコンサート、名曲コンサート、オーケス トラ・キャラバン山形、第九公演4回、大 河ドラマコンサート
地方公演	8回	12,055人	静岡、帯広、旭川、札幌、NHK音楽祭、 大阪、松本、新潟
放送・録音 演奏	4回	—	映画「窓ぎわのトットちゃん」録音 「大河ドラマ」テーマ曲など録音 名曲アルバム 放送記念日 記念演奏
契約公演	32回	—	東京春・音楽祭(東京文化会館2回)、ゴー ルデン・クラシック(東京文化会館)、舞鶴、 足利、葛飾、オーチャード定期(7月、10月、 2023年1月、3月、計4回)、郡山、所沢、 N響「夏」大阪、福山、川崎、安城、練馬、 名古屋、伊那、鎌倉、磐城、NTT東日本 公演(東京オペラシティ)、さいたま、松戸、 N響第九チャリティーコンサート(NHK ホール)、大宮、都民芸術フェスティバル(東 京芸術劇場)、多摩、成田、福井、東京春・ 音楽祭(東京文化会館2回)

2023年度 演奏活動実績

- ◆定期公演 (2023年4月～2023年6月：A, C：NHKホール、B：サントリーホール)  
 (2023年9月～2024年2月：A, C：NHKホール、B：サントリーホール)

4月	A	第1980回 4/15, 16 指揮：パーヴォ・ヤルヴィ R. シュトラウス：「ヨゼフの伝説」からの交響的断章 R. シュトラウス：アルプス交響曲 作品64
	B	第1982回 4/26, 27 指揮：パーヴォ・ヤルヴィ シベリウス：交響曲第4番 イ短調 作品63 ラフマニノフ：パガニーニの主題による狂詩曲 作品43 チャイコフスキー：幻想曲「フランチェスカ・ダ・リミニ」 作品32
	C	第1981回 4/21, 22 指揮：パーヴォ・ヤルヴィ ルーセル：シンフォニエッタ 作品52 プーランク：シンフォニエッタ イベール：ディヴェルティスマン
5月	A	第1983回 5/13, 14 指揮：下野竜也 Vn：バイバ・スクリデ ラフマニノフ：14のロマンス 作品34 から 「ラザロのよみがえり」(下野竜也編曲)、「ヴォカリーズ」 グバイドゥーリナ：オッフエルトリウム ドヴォルザーク：交響曲第7番 ニ短調 作品70
	B	第1985回 5/24, 25 指揮：ファビオ・ルイージ Hr：福川伸陽 ハイドン：交響曲第82番 ハ長調「くま」 モーツァルト：ホルン協奏曲第3番 変ホ長調 K.447 ベートーヴェン：交響曲第6番 ヘ長調「田園」 作品68
	C	第1984回 5/19, 20 指揮：ファビオ・ルイージ Pf：パスカル・ロジェ サン・サーンス：ピアノ協奏曲 第5番 ヘ長調 作品103「エジプト風」 プーランク：交響曲 ニ短調

6月	A	第1986回 6/10, 11 指揮：ジャンンドレア・ノセダ Pf：ベフゾド・アブドゥライモフ プロコフィエフ：交響組曲「3つのオレンジへの恋」 プロコフィエフ：ピアノ協奏曲第2番 ト短調 作品16 カゼッラ：歌劇「蛇女」からの交響的断章
	B	第1988回 6/21, 22 指揮：ジャンンドレア・ノセダ Vn：庄司紗矢香 バッハ（レスピーギ編）：3つのコラール レスピーギ：グレゴレオ風協奏曲 ラフマニノフ：交響曲第1番 ニ短調 作品13
	C	第1987回 6/16, 17 指揮：ジャンンドレア・ノセダ ショスタコーヴィチ：交響曲第8番 ハ短調 作品65
9月	A	第1989回 9/9, 10 指揮：ファビオ・ルイージ Pf：マルティン・ヘルムヒェン R. シュトラウス：交響詩「テイル・オヴ・シユピ・ゲル」の愉快ないたずら」 作品28 R. シュトラウス：ブルレスケ ニ短調 R. シュトラウス：交響詩「イタリアから」
	B	第1991回 9/20, 21 指揮：トン・コープマン Fl：神田寛明 モーツァルト：交響曲第29番 イ長調 K. 201 モーツァルト：フルート協奏曲第2番 ニ長調 K. 314 モーツァルト：交響曲第39番 変ホ長調 K. 543
	C	第1990回 9/15, 16 指揮：ファビオ・ルイージ ワーグナー（フリーヘル編）：楽劇「ニーベルングの指環」－オーケストラ・アドベンチャー－
10月	A	公演中止
	B	第1994回 10/25, 26 指揮：尾高忠明 ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 作品73「皇帝」 ブラームス：交響曲第3番 ヘ長調 作品90

		<p>第 1993 回 10/20, 21</p> <p>指揮：高関健</p> <p>C ニルセン：「アラジン」組曲 作品 34 から 「祝典行進曲」「ヒンドゥーの踊り」「イスファハンの市場」「黒人の踊り」（第 1, 3, 5, 7 曲）</p> <p>シベリウス：交響曲第 2 番 ニ長調 作品 43</p>
11 月	A	<p>第 1997 回 11/25, 26</p> <p>指揮：平石章人、湯川紘恵</p> <p>スヴィリドフ：小三部作</p> <p>プロコフィエフ：歌劇「戦争と平和」から「ワルツ」</p> <p>A. ルビンシテイン：歌劇「悪魔」から「レズギンカ」</p> <p>グリーンカ：歌劇「イワン・スサーニン」から「クラコーヴィアク」</p> <p>リムスキー・コルサコフ：歌劇「雪娘」組曲</p> <p>チャイコフスキー：バレエ音楽「眠りの森の美女」</p>
	B	<p>第 1996 回 11/15, 16</p> <p>指揮：ユッカ・ペッカ・サラステ</p> <p>Vn：ペッカ・クーシスト</p> <p>シベリウス：交響詩「タピオラ」 作品 112</p> <p>ストラヴィンスキー：ヴァイオリン協奏曲</p> <p>シベリウス：交響曲 第 1 番 ホ短調 作品 39</p>
	C	<p>第 1995 回 11/10, 11</p> <p>指揮：ゲルゲイ・マダラシュ</p> <p>Pf：阪田知樹</p> <p>バルトーク：ハンガリーの風景 BB103</p> <p>リスト：ハンガリー幻想曲 S. 123</p> <p>コダーイ：組曲「ハーリ・ヤーノシュ」</p>
12 月	A	<p>第 2000 回 12/16, 17</p> <p>指揮：ファビオ・ルイージ</p> <p>S1：エレーナ・スティッキーナ、S2：ヴァレンティーナ・ファルカシュ</p> <p>S3：三宅理恵 A1：オレシア・ペトロヴァ、A2：カトリオーナ・モリソン</p> <p>T：ミヒャエル・シャーデ、Br：ルーク・ストリフ、B：デイヴィッド・シュテフェンズ</p> <p>合唱：新国立劇場合唱団、児童合唱：NHK 東京児童合唱団</p> <p>マーラー：交響曲 第 8 番「一千人の交響曲」</p>
	B	<p>第 1999 回 12/6, 7</p> <p>指揮：ファビオ・ルイージ</p> <p>Pf：アリス・紗良・オット</p> <p>ハイドン：交響曲第 100 番 ト長調「軍隊」</p> <p>リスト：ピアノ協奏曲 第 1 番 変ホ長調 S. 124</p> <p>レーガー：モーツァルトの主題による変奏曲とフーガ 作品 132</p>

	C	第 1998 回 12/1, 2 指揮：ファビオ・ルイーヂ フンパーディング：歌劇「ヘンゼルとグレーテル」前奏曲 ベルリオーズ：幻想交響曲 作品 14
1 月	A	第 2001 回 1/13, 14 指揮：トゥガン・ソヒエフ ビゼー（シチェドリン編）：バレエ音楽「カルメン組曲」 ラヴェル：組曲「マ・メール・ロワ」 ラヴェル：バレエ音楽「ラ・ヴァルス」
	B	第 2003 回 1/24, 25 指揮：トゥガン・ソヒエフ Vn：郷古廉、Va：村上淳一郎 モーツァルト：ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲 変ホ長調 K. 364 ベートーヴェン：交響曲第 3 番 変ホ長調 作品 55「英雄」
	C	第 2002 回 1/19, 20 指揮：トゥガン・ソヒエフ リャードフ：交響詩「キキモラ」 作品 63 プロコフィエフ：バレエ音楽「ロメオとジュリエット」（抜粋）
2 月	A	第 2004 回 2/3, 4 指揮：井上道義 Br：アレクセイ・ティホミロフ 合唱/オルフェイ・ドレンガー J. シュトラウスⅡ：ポルカ「クラップフェンの森で」 ショスタコーヴィチ：舞台管弦楽のための組曲第 1 番から 「行進曲」「リリック・ワルツ」「小さなポルカ」「第 2 ワルツ」 ショスタコーヴィチ：交響曲第 13 番 変ロ短調 作品 113「バビ・ヤール」
	B	第 206 回 2/14, 15 指揮：パブロ・エラス・カサド Vn：オーガスティン・ハーデリヒ S：吉田珠代 ラヴェル：スペイン狂詩曲 プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲第 2 番 ト短調 作品 63 ファリャ：バレエ音楽「三角帽子」
	C	第 2005 回 2/9, 10 指揮：大植英次 ワーグナー：ジークフリート牧歌 R. シュトラウス：交響詩「英雄の生涯」 作品 40

◆特別公演

5月	<p>青のオーケストラ &lt;5/7&gt; 東京芸術劇場          指揮：秋山和慶          Vn：東亮汰          スッペ：「軽騎兵」序曲          パッヘルベル：カノン          ヴィヴァルディ：「四季」から「春」第1楽章、「夏」第3楽章          ビゼー：歌劇「カルメン」前奏曲          ドヴォルザーク：交響曲第9番ホ短調作品95「新世界から」</p>
6月	<p>Music Tomorrow 2023 &lt;6/27&gt; 東京オペラシティ・コンサートホール          指揮：杉山洋一          Vn：金川真弓、尺八：藤原道山、三味線：本條秀慈郎          藤倉大：尺八協奏曲（第70回尾高賞受賞作品）          一柳慧：ヴァイオリンと三味線のための二重協奏曲（第70回尾高賞受賞作品）          スルンカ：スーパーオーガニズム（ベルリン・フィル、ロサンゼルス・フィル、チェコ・フィル、N響 共同委嘱）</p>
7月	<p>オーケストラ・キャラバン &lt;7/17&gt; ザ・ヒロカワシティ会館（水戸）          指揮：広上淳一、Pf：小山実稚恵          ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第3番 ニ短調 作品30          ベートーヴェン：交響曲第7番 イ長調 作品92</p>
	<p>N響「夏」2023 &lt;7/21&gt; NHKホール          指揮：熊倉優          Pf：北村朋幹          ウェーバー：歌劇「魔弾の射手」序曲          モーツァルト：ピアノ協奏曲第24番 ハ短調 K.491          シューマン：交響曲第3番 変ホ長調 作品97「ライン」</p> <p>松山公演 &lt;7/23&gt; 松山市民会館          N響「夏」&lt;7/21&gt;と同プログラム</p>
8月	<p>N響ウェルカム・コンサート &lt;8/3&gt; NHKホール          指揮：熊倉優 F1：神田寛明 司会：大林奈津子          コダーイ：組曲「ハーリ・ヤーノシュ」から「ウィーンの音楽時計」          R. シュトラウス：交響詩「イタリアにて」から          チャイコフスキー：バレエ音楽「眠りの森の美女」から          モーツァルト：フルート協奏曲第2番 ニ長調 K.314から 第2楽章          ワグナー：楽劇「ワルキューレ」-第3幕「ワルキューレの騎行」          ニルセン：「アラジン」組曲 作品34から「イスファハンの市場」          イベール：「寄港地」から「ヴァレンシア」          レスピーギ：交響詩「ローマの祭り」から「主顕祭」</p>

	<p>ほっとコンサート &lt;8/6&gt; NHKホール  指揮：三ツ橋敬子 ナビゲーター・語り・歌：小野あつこ Vn：郷古廉  外山雄三：「管弦楽のためのラブソディ」から「八木節」  久石譲：オーケストラ ストーリーズ「となりのトトロ」  ピアソラ：「ブエノスアイレスの四季」から「夏」  ヘンデル：「水上の音楽」第2組曲から「アラ・ホーンパイプ」  アルヴェーン：スウェーデン狂詩曲第1番「夏至の徹夜祭」  J. シュトラウスⅡ：ポルカ「クラブフェンの森で」  グローフェ：組曲「グランド・キャニオン」から 第3曲「山道を行く」  ファリャ：歌劇「はかなき人生」から「スペイン舞曲」</p>
9月	<p>N響名曲コンサート &lt;9/28&gt; サントリーホール  指揮：下野竜也  Pf： 小林海都  ドヴォルザーク：序曲「謝肉祭」作品92  モーツァルト：ピアノ協奏曲第23番 イ長調 K.488  ドヴォルザーク：交響曲第8番 ト長調 作品88</p>
10月	<p>オーケストラ・キャラバン &lt;10/2&gt; やまぎん県民ホール  ドヴォルザーク：序曲「謝肉祭」作品92  モーツァルト：ピアノ協奏曲第9番 変ホ長調 K.271「ジュノム」  ドヴォルザーク：交響曲第8番 ト長調 作品88</p>
12月	<p>第九公演 &lt;12/22, 23, 24&gt; NHKホール、&lt;12/27&gt; サントリーホール  指揮：下野竜也  S：中村恵理、A：脇園彩、T：村上公太、Br：河野鉄平  合唱：新国立劇場合唱団  バーバー：弦楽のためのアダージョ  ベートーヴェン：交響曲第9番 ニ短調 作品125 「合唱つき」</p>
3月	<p>大河ドラマコンサート &lt;3/9&gt; 東京芸術劇場  指揮：キンボー・イシイ Vn：三浦文彰 特別ゲスト：高橋秀樹（俳優）  ゲスト：坂田晃一（作曲家） 司会：山田美也子  「黄金の日々」「どうする家康」「春の坂道」「国盗り物語」「花神」「山河燃ゆ」  「おんな太閤記」「いのち」「真田丸」「光る君へ」  ヴィヴァルディ：「四季」から「春」  スメタナ：交響詩「モルダウ」  J. シュトラウス2世：ワルツ「美しく青きドナウ」</p>

◆地方公演

7月	<p>静岡公演 &lt;7/2&gt; 清水マリナート 指揮：山下一史 Vn 金川真弓 チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品 35 チャイコフスキー：交響曲第4番 ヘ短調 作品 36</p>
8月	<p>帯広公演 &lt;8/25&gt; 帯広市民文化ホール アンドリス・ポーガ、Pf 松田華音 チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 作品 23 チャイコフスキー：交響曲第6番 ロ短調「悲愴」作品 74</p>
	<p>旭川公演 &lt;8/27&gt; 旭川市民文化会館 8/25 と同プログラム</p>
	<p>札幌公演 &lt;8/28&gt; 札幌コンサートホール Kitara 8/25 と同プログラム</p>
10月	<p>NHK音楽祭 &lt;10/31&gt; NHKホール 指揮：ジョン・アクセルロッド 児童合唱/東京少年少女合唱隊 チャイコフスキー：バレエ「くるみ割り人形」作品 71 全曲</p>
1月	<p>大阪公演 &lt;1/27&gt; NHK大阪ホール 1月B定期と同プログラム</p>
2月	<p>松本公演 &lt;2/23&gt;まつもと市民芸術館 新潟公演 &lt;2/24&gt;新潟市民芸術文化会館・りゅーとぴあ 指揮：沼尻竜典 Vc：カミーユ・トマ ドヴォルザーク：スラブ舞曲第1番 ハ長調 作品 46-1 ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 ロ短調 作品 104 シューマン：交響曲第1番 変ロ長調 作品 38「春」</p>

◆放送演奏

5月	<p>映画「窓ぎわのトットちゃん」録音 &lt;5/9&gt;</p>
9月	<p>録音 &lt;9/4&gt; 「大河ドラマ」テーマ曲など 指揮：広上淳一</p>

3月	録音<3/5> 名曲アルバム 指揮：原田慶太楼 ホルスト：組曲「惑星」から「木星」 メンデルスゾーン：交響曲第3番イ短調「スコットランド」から ショパン：ピアノ協奏曲第2番へ短調から第2楽章
	放送記念日 <3/15> 記念演奏 指揮：湯川紘恵 ロッシーニ：歌劇「ウィリアム・テル」序曲

◆契約公演

4月	東京・春・音楽祭 <4/2,9> 東京文化会館 指揮：マレク・ヤノフスキ ワーグナー：楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」（演奏会形式）
5月	ゴールデン・クラシック <5/3> 東京文化会館 指揮：秋山和慶 Pf：田部京子 モーツァルト：歌劇「魔笛」序曲 K. 620 モーツァルト：ピアノ協奏曲第27番 変ロ長調 K. 595 モーツァルト：交響曲第40番 ト短調 K. 550
	舞鶴公演 <5/28> 舞鶴市総合文化会館 5月B定期と同プログラム
6月	足利定期 <6/5> あしかがフラワーパークプラザ 指揮：沼尻竜典 Vn：アラベラ・美歩・シュタインバッハー ウェーバー：歌劇「オベロン」序曲 メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64 ブラームス：交響曲第2番 ニ長調 作品73
7月	N響ベストクラシックス <7/1> かつしかシンフォニーヒルズ 地方公演（静岡）<7/2>と同プログラム
	オーチャード定期 <7/8> 横浜みなとみらいホール 指揮：尾高忠明 Pf：角野隼斗 ショパン：ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 作品11 ストラヴィンスキー：バレエ組曲「火の鳥」（1945年版）
	郡山公演 <7/9> けんしん郡山文化センター オーチャード定期<7/8>と同プログラム

	<p>所沢公演 &lt;7/15&gt; 所沢ミュージズ 指揮：広上淳一 Pf：小山実稚恵 ブラームス：ピアノ協奏曲第1番 ニ短調 作品15 ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第3番 ニ短調 作品30</p>
	<p>N響「夏」大阪2023 &lt;7/22&gt; ザ・シンフォニーホール N響「夏」&lt;7/21&gt;と同プログラム</p>
	<p>福山公演 &lt;7/25&gt; ふくやまリーデンローズ N響「夏」&lt;7/21&gt;と同プログラム</p>
	<p>フェスタサマーミュージザ &lt;7/29&gt; ミューザ川崎シンフォニーホール 指揮：キンボー・イシイ Pf：マルティン・ガルシア・ガルシア ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 作品18 リムスキー・コルサコフ：交響組曲「シェエラザード」作品35</p>
	<p>アイシン・エイ・ダブリュ公演 &lt;7/30&gt; アイシン・エイ・ダブリュ・ハーモニーホール フェスタサマーミュージザ &lt;7/29&gt;と同プログラム</p>
9月	<p>練馬公演 &lt;9/2&gt; 東京芸術劇場 指揮：大友直人 Vn：大谷康子 ジョン・ウィリアムズ：「ハリー・ポッター」から「ヘドウィグのテーマ」 チャイコフスキー：バレエ音楽「眠りの森の美女」から ムソルグスキー（リムスキー・コルサコフ編）：交響詩「はげ山の一夜」 サラサーテ：「魔弾の射手」の主題による協奏的幻想曲 作品14 チャイコフスキー：バレエ音楽「白鳥の湖」作品20aから「終曲の情景」 エルガー：「子どもの魔法の杖」第1組曲から「序曲」「妖精たちと巨人」 ジョン・ウィリアムズ：「ハリー・ポッターの秘密の部屋」から「ハリーの不思議な世界」 サラサーテ：ファウストの主題による幻想曲 ストラヴィンスキー：バレエ組曲「火の鳥」（1919年版）から 「カスチェイ王の魔の踊り～子守歌～終曲」</p>
	<p>愛知公演 &lt;9/23&gt; 愛知県立芸術劇場 9月B定期と同プログラム</p>
	<p>伊那公演 &lt;9/24&gt; 伊那文化会館 9月B定期と同プログラム</p>
10月	<p>鎌倉公演 &lt;10/1&gt; 鎌倉芸術館 指揮：下野竜也 Pf：小林海都 オーケストラ・キャラバン &lt;10/2&gt;と同プログラム</p>

	<p>いわき公演 &lt;10/7&gt; いわきアリオス  指揮：鈴木雅明  Vn 成田達輝  シューベルト：交響曲第7番 ロ短調 D.759「未完成」  モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第4番 ニ長調 K.218  メンデルスゾーン：交響曲第4番 イ長調 作品90「イタリア」</p>
	<p>オーチャード定期 &lt;10/28&gt; みなとみらいホール  10月B定期と同プログラム</p>
11月	<p>NTT東日本公演 &lt;11/2&gt; 東京オペラシティ  指揮：園田隆一郎  Pf：萩原麻未  シベリウス：交響詩「フィンランディア」作品26  グリーグ：ピアノ協奏曲 イ短調 作品16  グリーグ：「ペール・ギュント」組曲第1番、第2番</p>
	<p>埼玉公演 &lt;11/5&gt; 埼玉会館  指揮：梅田俊明  Vn：戸澤采紀  シベリウス：ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 作品47  チャイコフスキー：交響曲第5番 ホ短調 作品64</p>
12月	<p>松戸公演 &lt;12/9&gt; 松戸 森のホール21  12月B定期と同プログラム</p>
	<p>NHK厚生文化事業団 第九公演 &lt;12/26&gt; NHKホール  12月第九公演と同プログラム</p>
1月	<p>オーチャード定期 &lt;1/8&gt; オーチャードホール  指揮：準メルクル  S：森野美咲  デュカス：交響詩「魔法使いの弟子」  トマ：歌劇「ミニョン」からポロネーズ「私はティタニア」  J.シュトラウス2世：常動曲 作品257  J.シュトラウス2世：春の声 作品410  ブラームス：交響曲第1番 ハ短調 作品68</p>
2月	<p>大宮公演 &lt;2/18&gt; 大宮レイボックホール  指揮：パブロ・エラス・カサド  Pf：牛田智大  ベートーヴェン：「コリオラン」序曲 作品62  モーツァルト：ピアノ協奏曲第24番 ハ短調 K.491  ベートーヴェン：交響曲第5番 ハ短調 作品67「運命」</p>

	<p>都民芸術フェスティバル &lt;2/21&gt; 東京芸術劇場</p> <p>指揮：沼尻竜典</p> <p>Vc：カミーユ・トマ</p> <p>ドヴォルザーク：スラブ舞曲第1番 ハ長調 作品46-1</p> <p>ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 ロ短調 作品104</p> <p>シューマン：交響曲第1番 変ロ長調 作品38「春」</p>
3月	<p>多摩公演 &lt;3/1&gt; パルテノン多摩</p> <p>指揮：アンドレアス・オッテンザマー</p> <p>クラリネット：ダニエル・オッテンザマー</p> <p>ブラームス：大学祝典序曲</p> <p>ブラームス（コンツ編）：クラリネット・ソナタ第2番変ホ長調 作品120-2</p> <p>ブラームス：ハイドンの主題による変奏曲 作品56a</p> <p>ブラームス：ハンガリー舞曲第1番、第3番、第4番、第6番</p> <p>ブラームス（コンツ編）：ワルツ作品39-15、作品52-6、ハンガリー舞曲No.7</p> <p>ブラームス：ハンガリー舞曲第2番、第5番</p>
	<p>オーチャード定期 &lt;3/2&gt; みなとみらいホール</p> <p>&lt;3/1&gt; パルテノン多摩と同プログラム</p>
	<p>成田公演 &lt;3/3&gt; 成田市国際文化会館</p> <p>&lt;3/1&gt; パルテノン多摩と同プログラム</p>
	<p>福井公演 &lt;3/10&gt; ハーモニーホールふくい</p> <p>指揮：キンボー・イシイ Vn：三浦文彰 ゲスト：坂田晃一（作曲家）司会：山田美也子</p> <p>特別公演 &lt;3/9&gt; 東京芸術劇場と同プログラム</p>
	<p>東京・春・音楽祭 &lt;3/27, 30&gt; 東京文化会館</p> <p>指揮：マレク・ヤノフスキ</p> <p>ワーグナー：楽劇「トリスタンとイゾルデ」（演奏会形式）</p>